

開花の観測は「さくら」だけではありません

気象庁では、全国の気象官署で統一した基準によりうめ・さくらの開花した日、かえで・いちょうが紅（黄）葉した日などの植物季節観測を行っています。

現在、網走地方気象台では2つの植物について観測を行っています。1つはご存知の通り「さくら」です。今年2025年は5月8日に開花を、5月10日に満開を観測しました。特に今年は、気象庁でさくらの観測をしている官署の中で、最も遅い開花および満開の観測となりました。

では、網走地方気象台で観測を行っているもう1つの植物についてご存知でしょうか。それは「あじさい」です。なお、“あじさいの花”というイメージがあるであろう外側の部分は「装飾花」といい、気象庁で観測しているのは、その装飾花の柄が集まった中心で咲く「真の花（両性花）」の部分です。この真の花が2〜3輪咲いた状態となった最初の日を、あじさいの開花日と定義しています。

網走地方気象台では、1983年よりあじさいの開花観測を行っており、平年値は8月6日です。また、昨年2024年は7月24日に開花を観測しており、これは観測史上最も早い開花となりました。なお、最も遅い開花となったのは、1987年の8月25日です。

気象庁が観測している植物というのと、どうしてもさくらのイメージが強いかと思いますが、あじさいについても、この機会に覚えていただけますと幸いです。

問い合わせ先 網走地方気象台（電話：0152-43-4349）



網走地方気象台ホームページ



気象庁ホームページ
生物季節観測の概要



あじさいの装飾花と真の花(気象庁ホームページより)